

Enter the Dragon

From Warner Bros. A Warner Communications Company

テクニカラー／パナビジョン

76年正月 本物のすごさが炸裂！これぞブルース・リー最高傑作！

★史上最強ノ不滅のアクション・スター  
ブルース・リー

ジョン・サクソン／アーナ・カプリ／ボブ・ウォール／シー・キエン／ジム・ケリー  
巨匠ロバート・クローズ監督／ヘタリーハリソンのラロ・シフリン音楽  
ワーナー・ブラザーズ映画



# 燃えよドラゴン

12月20日 (土曜) より	新春ロードショー	渋谷ジョイシネマ (462) 2539	新宿地球座 (209) 6180
渋谷地球座改め 西武渋谷店先		歌舞伎町・ジョイバックビル前・地球会館4F	

### ■ストーリー

少林寺拳法の達人リー（ブルース・リー）は、ホンコンの郊外で国際情報機構のブレイクスウェイト（ジェフリー・ウィークス）に会い、その要請で、ある孤島で、リーの兄弟子ハン

（シー・キ

エン）が催す、命がけの武術試合に参加する事になった。少林寺道場を破門されたハンは、いまは、多くの武道の達人たちを手下にして、麻薬と売春のボスになっていた。孤島がその本拠地である。リーの使命はそこで情報を収集する事であった。ハンの武術大会には、外国から、ローパー（ジム・サクソン）、ウイリアムス（ジム・ケリー）、などの達人たちが参加した。一同は島の女主人タニア（アーナ・カプリ）の迎えを受け、ハンの宴会に招かれた。リーの味方である情報員のメイ・リン（ベティ・チュン）という美女も、すでにその島に潜入していた。その晩、リーは島の中を探り、地下の洞窟にある巨大なアヘン工場を発見した。そこには大勢の捕虜が監禁されていた。

翌日の試

合で、ハンの用心棒ボロ（ヤン・スエ）は、四人の守衛を次々に殺した。地下工場に潜入したスパイを取り逃がした罰である。続いてリーとオハラ（ボブ・ウォール）の試合。白人のオハラもカラテの達人だったが、妹（アンジェラ・マオ・イン）の仇への復讐に燃えるリーに、あえなく殺されてしまった。

一方、ウイリアムスをスパイだと思い込んだハンは、自分で彼に試合をいどみ、鋼鉄の義手でなぐり殺した。その晩、またも地下工場に潜入したリーは無線でブレイクスウェイトに、すべて報告したが、その直後に捕えられた。翌日の試合で、ローパーは仲間に入るのを断ったうえ、ハンの用心棒ボロを殺した。怒ったハンは、リーとローパーを殺せと全員に命じたが、ローパーはリーと協力して次々に襲いかかる男たちをなぎ倒していった。しかもメイ・リンが解放した捕虜たちも加わって、試合は大乱闘となった。鏡の中の迷路に逃げこんだハンとリーの秘術を尽くした決闘が続いた。息づまる緊張と手に汗にぎる激闘の末、倒された。

### ■解説

#### 映画史

上最強のアクション・スター、ブルース・リーが、世界の映画界に

驚異のデビューを飾った彼自身の最高傑作である。しかも彼の主演作5本（未

完成フィルムを含む）の中で唯一のアメリカ映画。この映画を見ずしてブルース・リーは語れない。

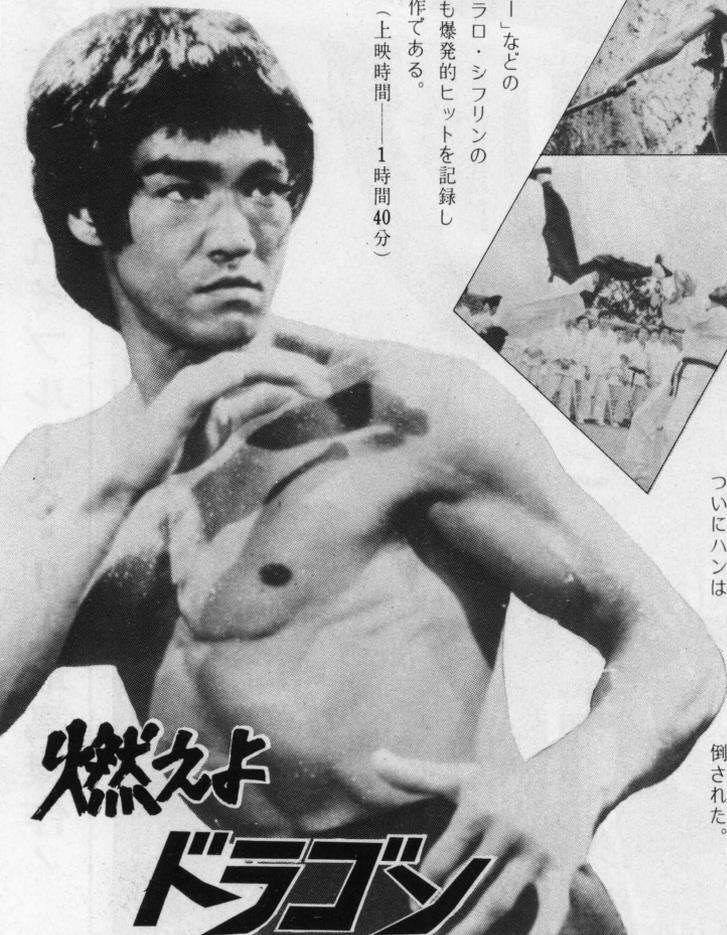
ご承知のように日本では、彼の最後の作品となるこの「燃えよドラゴン」が一番最初に公開されて、史上空前の大ヒットを記録し、当時無名だったブルース・リーが一躍トップ・スターとなり、強烈なそのイメージで、50年代のジエムス・デ

インに匹敵する70年代の永遠のスターとなった。型破りの凄さ、その面白さ。それまでの映画の常識を超えた猛烈アクションは、主演のブルース・リー同様、永遠に色あせることのない新鮮さを保ち、何度見ても満足できるものとなっている。

共演は「許されざる者」のジョン・サクソン。そして「黒帯ドラゴン」のジム・ケリー、「女必殺拳」のアンジェラ・マオ・イン。製作はフレッド・ワイントロップとポール・ヘラー。監督は巨匠ロバート・クローズ。「ブリット」「ダーティ

ハリー」などの名匠ラロ・シフリンの音楽も爆発的のヒットを記録した傑作である。

（上映時間——1時間40分）



★これまでのBL関係書を抜く最終決定版とも言うべきファン待望の書ついに発刊！

栄光のドラゴン

## ブルース・リーのすべて

●最高作「燃えよドラゴン」のワイド手引きとブルース・リー全作品ガイド●精密ブルース・リー伝●「ドラゴン」の死と伝説をめぐるエピソード集●ブルース・リーに関するミニ百科●アート版8頁ほか写真豊富

日野康一・編著  
スクリーン編集部・構成  
880円  
近代映画社・発行